

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32111	松山市地域振興構想策定事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	2
32111	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	3
32111	フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	4
32113	愛ランド里島構想推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	5
32113	里島地域おこし推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	6
32113	姫ヶ浜荘等管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	7
32114	風早レトロタウン構想促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	8
32141	移住定住促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	9
32141	子育て世帯いっしょい事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	10
32214	三津浜地区活性化推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	11
61111	地域におけるまちづくり推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	12
61111	地域協働活動応援事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	13
61112	コミュニティ活動振興事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	14
61121	NPOサポートセンター運営管理業務	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	15
61121	市民活動推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	16
69999	表彰制度実施事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	17

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	矢野 幸平	担当	佐竹 昭彦	大久保 謙

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市地域振興構想策定事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32111								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	選ばれる都市づくり			-	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり		根拠法令	愛ランド里島構想、風早レトロタウン構想 三津浜地区活性化計画				
取組みの柱	フィールドミュージアム構想の推進							
目的・背景	『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想により、センターゾーン及び6つのサブセンターゾーンを設定し、各地域の特色を生かした回遊性の高いまちづくりを進めてきた。こうした取り組みから長い年月が経ち、昨今の社会変化を踏まえ、各地域(ゾーン)の特性や課題を改めて見つめなおし、地域一体で更なる地域の賑わいや持続的な発展を生み出すためのビジョンを策定する。							
対象・内容	松山市地域振興構想を策定するにあたり、以下の業務を令和5～6年度にかけて委託。 1.現状・将来動向の把握・分析 2.市民等参加手法の検討及び実施支援 3.構想に関する調査・素案作成 4.松山市地域振興構想策定懇話会の開催 5.構想案及び実施計画、冊子の作成 6.市民周知方法の検討 7.市民意見公募手続の実施							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	0	6,249	7,367		主な経費 (千円) 【R5 決算】	松山市地域振興構想策定支援業務委託料		5,500	
	国費・県費						松山市地域振興構想策定懇話会報償費		158	
	市債									
	その他									
	一般財源		6,249	7,367						
決算 (千円)	事業費計	0	5,966			主な取組 内容 【R5】	・松山市地域振興構想策定懇話会の開催 ・地域住民を対象としたワークショップ、市内の高校に通学する高校生を対象としたワークショップの開催 ・地域住民を対象としたアンケートの実施 ・松山市地域振興構想の構成案の作成			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源		5,966							
	(執行率)	0%	95%							
人役	正規職員		0.6	0.6		特記 事項				
	その他									
	合計	0.0	0.6	0.6						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	松山市地域振興構想策定懇話会の開催回数	目標	-	2	3	3	適切な時期に懇話会を開催することができた	
		実績	-	2				
	単年で増	回	達成率	-	100%			
成果 指標	松山市地域振興構想の策定	目標	-	-	1	1		
		実績	-	-				
	単年で増	-	達成率	-	-			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	各地域の特長や課題について、現状を整理するとともに地域住民とのワークショップやアンケート調査を通じた意見聴取を実施し、令和6年度末の構想策定に向けて必要なデータ収集をすることができたため。						
課題	各地域のまちづくりで活用してもらうことに加え、各学校の地域学習でも活用してもらえるような策定しただけにとどまらない方策を検討していく必要がある。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	令和6年度にかけて構想を策定するため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	矢野 幸平	担当	佐竹 昭彦	大久保 謙

1.事業概要【Plan】

事業名	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32111		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本構想、 『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本計画				
取組みの柱	フィールドミュージアム構想の推進						
目的・背景	目的:小説『坂の上の雲』の3人の主人公が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望をまちづくりの基本理念に取り入れて、既存の地域資源を最大限活用し、主人公たちのように夢や希望を持ちながら、官民一体となって「物語」が感じられるまちを目指すもの。 背景:市民とともに物語の随所に描かれる松山の特性を再認識しつつ、将来のしっかりとした都市像を描き、その実現に邁進する姿を発信できれば、観光分野はもとより、まちづくりが大いに進展すると考え、H12年度から開始。						
対象・内容	『坂の上の雲』のまちづくりに対する市民への周知や、まちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした市民活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくりを推進する。 ○市民啓発事業 1.『坂の上の雲』ふるさとウォーク 2.まちづくりマップ 3. サイクルロゲイニング大会 4. 挑め！FMM(『坂の上の雲』フィールドミュージアムマスター)(令和5年度事業完了) 5.『坂の上の雲』のまちを巡ろう360度市民リレー動画(令和5年度事業完了) ○市民活動支援事業 地域の宝みがきサポート事業						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	10,462	11,448	13,541		主な経費 (千円) 【R5 決算】	『坂の上の雲』ふるさとウォーク開催負担金		5,200
	国費・県費							サイクルロゲイニング大会開催負担金	1,800
	市債							地域の宝みがきサポート事業補助金	1,200
	その他	10	10	10					
	一般財源	10,452	11,438	13,531					
決算 (千円)	事業費計	10,219	10,438			主な取組内容 【R5】	『坂の上の雲』ふるさとウォークの開催 ・サイクルロゲイニング大会の開催 ・地域の宝みがきサポート事業の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	10	10						
	一般財源	10,209	10,428						
	(執行率)	98%	91%						
人役	正規職員	3.0	2.6	2.6		特記事項			
	その他	0.1	0.0	0.0					
	合計	3.1	2.6	2.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	フィールドミュージアムマップ配布数	目標	500	500	500	500	令和3年度に目標以上の配布を行い、令和4年度以降は必要部数のみ追加で配布したため。また、令和4年度にデジタルブック化したため。	
		実績	238	336				
	単年で増	冊	達成率	47.6%	67.2%			
成果指標	地域資源を活かした市民活動を実施した団体数	目標	52	54	56	56	支援事業の説明や募集を計画的に行うことで目標を達成することができた。	
		実績	55	57				
	累計で増	件	達成率	125.0%	121.4%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	啓発イベントや地域活動の支援等を実施することで、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことができた。しかし、若い世代の『坂の上の雲まちづくり』に対する認知度は依然低いままであるため、今後効果的な啓発について手法を探る必要がある。						
課題	若い世代への効果的な啓発を図る必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	市民啓発事業について、新たな事業や工夫を行い、若い世代の参加者を増やすよう取り組むため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	矢野 幸平	担当	佐竹 昭彦	大久保 謙

1.事業概要【Plan】

事業名	フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり		○	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令					
取組みの柱	フィールドミュージアム構想の推進						
目的・背景	久谷地区が持つ地域特性や資源について、その歴史や価値を研究・再評価し、有効に活用することで、地域活性化につなげるとともに、地元のまちづくりへの若い世代の参画を促し、持続的な発展を目指す。						
対象・内容	久谷地区全体を「フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ」と位置付け、行政と地域まちづくり団体、地元大学が連携し、下記の取り組みを実施 ①くたに学 ②フィールドミュージアムアカデミー大学祭 ③くたにラボ						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ運営事業負担金		1,000
予算(千円)	事業費計	2,000	1,000	1,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,000	1,000	1,000					
決算(千円)	事業費計	2,000	1,000						
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,000	1,000						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.3	0.3		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	地域まちづくり団体、地元大学との連携事業の実施数	目標	5	5	5	5	関係団体と情報共有を密に行い、計画的に事業を進めることができた。	
		実績	6	6				
	単年で増	回	達成率	120%	120%			
成果指標	イベントの参加者数	目標	1,000人	1,000人	2,000人	2,000人	広報活動に積極的に取り組み、参加者数の増加に繋げることができた。	
		実績	785人	2,755人				
	単年で増	人	達成率	78.5%	275.5%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	まちづくり協議会などの地域まちづくり団体、地元大学と連携した取り組みを実施し、若い世代のまちづくりへの参画を促すことができた。						
課題	事業終了後も継続的に連携ができるような素地づくりが求められる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地元大学や関係団体と連携し、久谷地区の地域活性化に繋げることができているため(令和6年度事業完了予定)。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	藤澤 祐司	担当	堀川 七恵	石丸 克彦

1.事業概要【Plan】

事業名	愛ランド里島構想推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32113								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり			○	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり		根拠法令	愛ランド里島構想				
取組みの柱	愛ランド里島構想の推進							
目的・背景	過疎化・少子高齢化が進む島しょ部の持続的な発展と活性化を目的として平成24年3月に「松山市愛ランド里島構想」を策定。重点プロジェクトである「定住促進」や「里島ツーリズムの促進」などを推進し、島しょ部の活性化に取り組んでいる。							
対象・内容	島しょ部の持続的な発展と活性化に向けて、以下の取組を行っている。 ・里島ツーリズムの推進(対象:来島者及び島しょ部の住民、補助金交付先:まつやま里島ツーリズム連絡協議会) ・出会い創出(婚活)イベントの開催(対象:島しょ部の独身男性、委託先:一般社団法人愛媛県法人会連合会) ・移住フェアでのPR等の実施(対象:都市部の住民ほか) ・島しょ部から通勤・通学する方や親元を離れて下宿する学生の保護者、松山北高校中島分校へ通学する生徒等への支援 ・離島振興関係団体と連携した情報発信及び情報収集 ・お試し移住施設や空き家バンクの運用等(対象:島外の住民ほか)							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	59,305	58,436	50,061		主な経費 (千円) 【R5 決算】	松山市里島通勤・通学者等支援外補助金		14,603
	国費・県費	10,512	7,511	5,424			まつやま里島ツーリズム連絡協議会事業補助金		8,000
	市債	0	0	0			里島ワーケーションモニターツアー等業務委託料		2,898
	その他	4,347	4,347	4,497					
	一般財源	44,446	46,578	40,140					
決算 (千円)	事業費計	42,111	41,109			主な取組内容 【R5】	・まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金の支出等による交流人口の創出 ・出会い創出イベントの開催やお試し移住施設、空き家バンクの運用などによる成婚や移住定住の促進		
	国費・県費	10,166	9,857						
	市債	0	0						
	その他	3,543	3,605						
	一般財源	28,402	27,647						
	(執行率)	71%	70%						
人役	正規職員	3.6	3.0	2.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.5					
	合計	3.6	3.0	2.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	移住定住促進や交流人口拡大に向けた島外でのPR回数	目標	5	5	6	6	島外イベントの周知など情報発信に積極的に取り組むことで、目標を達成することができた。		
		実績	2	8					
	単年で増	回	達成率	40%	160%				
成果指標	里島めぐり体験メニュー参加者数	目標	8,000	8,900	8,900	8,900	里島めぐり実施者の積極的な活動もあり、前年度より多くの方に参加いただき、ほぼ目標を達成することができた。		
		実績	8,748	8,837					
	単年で増	人	達成率	109.4%	99.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・島の特色を生かした体験メニュー等を実施し、交流人口の拡大を図ることができた。 ・出会い創出イベントの開催やお試し移住施設等の利用促進に努め、移住定住の促進を図ることができた。							
課題	人口減少が進む中、引き続き、交流人口の拡大や移住定住の促進につながるよう、島の特色を生かした取組を実施することで、島しょ部の活力を再生し、持続的な発展と活性化を目指す必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	令和6年度末に、今後の方向性を示す地域振興構想を策定予定のため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	藤澤 祐司	担当	灘野 みなみ	堀川 七恵

1.事業概要【Plan】

事業名	里島地域おこし推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32113								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり							
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり		根拠法令	愛ランド里島構想				
取組みの柱	愛ランド里島構想の推進							
目的・背景	過疎化・少子高齢化が進む島しょ部の持続的な発展と活性化を目的として平成24年3月に「松山市愛ランド里島構想」を策定。重点プロジェクトである「定住促進」や「里島ツーリズムの促進」などを推進し、島しょ部の活性化に取り組んでいる。							
対象・内容	島しょ部を拠点に活動する地域おこし協力隊とともに、新たな視点で地域の魅力を引き出し、地域活動の支援等を行いながら、隊員自身の定住や定着を目指す。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	9,479	12,997	13,372		主な経費 (千円) 【R5 決算】	会計年度任用職員報酬		6,617	
	国費・県費	500	1,000	1,000			会計年度任用職員期末手当		1,197	
	市債	0	0	0			会計年度任用職員保険料		682	
	その他	0	0	0						
	一般財源	8,979	11,997	12,372						
決算 (千円)	事業費計	7,699	10,203			主な取組内容 【R5】	就任1年目の隊員には「地域を知る」をテーマに、地域の行事・イベントなどに積極的に参加・協力してもらい、活動の基礎づくりを行った。就任2年目以降の隊員には情報発信や、任期満了後の定住等を見据えた活動の支援を行った。			
	国費・県費	0	0							
	市債	0	0							
	その他	0	30							
	一般財源	7,699	10,173							
	(執行率)	81%	79%							
人役	正規職員	0.8	1.0	1.0		特記事項				
	その他	0.0	0.0	0.0						
	合計	0.8	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	SNS等での情報発信回数 (隊員1人あたり)	目標	50	50	50	50	就任2年目以降の隊員の定住等を見据えた地域活動が多くなり、目標の8割の情報発信回数に留まった。	
		実績	48	40				
	単年で増	回	達成率	96%	80%			
成果指標	連携した地域団体数 (隊員1人あたり)	目標	9	9	10	10	就任1年目の隊員が地域団体の活動やイベントに積極的に参加・協力したため、目標を大きく上回る結果となった。	
		実績	13	17				
	単年で増	団体	達成率	144.4%	188.8%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体が行う活動への参加や地域団体と協力したイベント開催など、隊員とともに地域おこし活動を実施することができた。 ・3年の任期満了を迎えた隊員が活動地域に定住するなど、隊員の定住等を見据えた活動を支援することができた。 						
課題	引き続き、地域おこし協力隊の活動や定住等を支援することで、島しょ部の活力を再生し、持続的な発展と活性化を目指す必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地域おこし協力隊の活動や定住等が、島しょ部の活力を再生し、持続的な発展と活性化に繋がっているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	藤澤 祐司	担当	石丸 克彦	灘野 みなみ

1.事業概要【Plan】

事業名	32113 姫ヶ浜荘等管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	選ばれる都市づくり		根拠法令	愛ランド里島構想				
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり							
取組みの柱	愛ランド里島構想の推進							
目的・背景	島しょ部の交流人口の拡大による地域活性化を図るため、島外から中島を訪れる方の宿泊やキャンプ利用の受入施設となっている姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)等の維持管理を行う。							
対象・内容	姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)は指定管理(利用料金制)、長師休憩所や大串キャンプ場は地元組織への業務委託を行い、当該施設の維持管理を行っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	9,151	10,692	24,877		主な経費 (千円) 【R5 決算】	姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)等の光熱水費		3,435
	国費・県費	0	0	0			サメ防護ネット製作・設置・点検管理・撤去業務委託料		1,826
	市債	0	0	0					
	その他	2,300	3,000	17,179			長師休憩所及び大串キャンプ場施設管理等業務委託料		600
	一般財源	6,851	7,692	7,698					
決算 (千円)	事業費計	8,986	10,123			主な取組内容 【R5】	指定管理者や地元組織と連携・協力しながら当該施設の維持管理を行った。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	2,638	2,697						
	一般財源	6,348	7,426						
	(執行率)	98%	95%						
人役	正規職員	0.8	1.0	1.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.8	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)リーフレット配布数		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	市有施設やイベント等で積極的に配布したため、目標を達成することができた。
	単年で増	冊	達成率	109.8%	105.8%			
成果指標	姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)利用者数		目標	1,550	3,750	3,800	3,850	指定管理者と連携・協力した情報発信等により、目標を達成することができた。
	単年で増	人	達成率	239.7%	106%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者や地元組織と連携・協力し、当該施設の適正な維持管理を行うことができた。 指定管理者と連携・協力した事業実施や情報発信により、姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)の利用者を増加させることができた。 						
課題	引き続き、姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)の年間を通じた利用促進や安全・安心して利用できる施設の維持管理を行い、島しょ部の活力を再生し、持続的発展と活性化を目指す必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	離島振興の拠点である当該施設の利用促進や維持管理を行うことが、島しょ部の活力を再生し、持続的発展と活性化に繋がっているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	風早レトロタウン構想促進事業	連絡先	089-948-6991	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	山本 彰一	担当	渡部 光隆	吉野 雄亮

1.事業概要【Plan】

事業名	風早レトロタウン構想促進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32114								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり			○	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり		根拠法令	風早レトロタウン構想				
取組みの柱	風早レトロタウン構想の推進							
目的・背景	北条地域では、地域資源が数多くあるが、鹿島への渡船利用者数が年々減少したり、松山地区への通勤・通学者の増加により、昼間の滞留人口が減少するなど、かつての賑わいを失っている。そのような中で、『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想のサブセンターゾーンとして位置づけられている北条地域の活性化を図るため、地域の抱える課題解決に向けた取り組みを進めることにより、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気のある地域を目指す。							
対象・内容	【対象】 負担金交付先:風早まちづくりネットワーク(風早活性化協議会を再編成し、令和5年5月に設立) 【事業内容】 北条地域全体の活性化を図り、7地区それぞれの特色を生かしたまちづくりに取り組む。 ○風早まちづくりネットワーク ・風早にぎわいレトロまつりを実施 ・協働推進事業:トレッキングマップ制作 ・情報発信事業:HPやSNSを活用し、地域資源やイベント情報などを発信 など ○風早地域の活性化に寄与する活動を行う団体に対し、対象経費の2分の1で10万円を限度とした支援を実施							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	4,888	4,888	5,340		主な経費 (千円) 【R5 決算】	風早まちづくりネット ワークへの負担金		4,648	
	国費・県費						風早活性化事業補助金 (鍵盤楽器コンサート)		100	
	市債									
	その他	753	1,150	2,063						
	一般財源	4,135	3,738	3,277						
決算 (千円)	事業費計	2,836	4,830			主な取組 内容 【R5】	・地域住民が一体となって実施するイベント 「風早にぎわいレトロまつり」を実施 ・北条地域誘引のための情報発信 ほか			
	国費・県費									
	市債									
	その他	984	3,464							
	一般財源	1,852	1,366							
	(執行率)	58%	99%							
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項				
	その他									
	合計	2.0	2.0	2.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	地域と連携して開催する イベント数	目標	—	1	1	1	これまでの活動指標は風早活性化協議会 の会員数であったが、風早まちづくり ネットワークへ再編成したことから、指標を イベント件数へ変更する。	
		実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	—	100%			
成果 指標	地域と連携して開催する イベントの参加人数	目標	—	6,000	7,000	7,000	活動指標の変更に併せて、成果指標を イベント参加人数とし、交流人口拡大を 目指す。	
		実績	3,000	6,000				
	単年で増	人	達成率	—	100%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	地域と連携して開催するイベント数及びイベントの参加人数ともに目的を達することができ、北条地域のにぎわいの創出につながったため。						
課題	目標値を達成しているが、今後もイベントを開催し、参加者数を増やす必要がある。			今後の 方向性	一部見直し	左記の 理由	令和6年度末に今後の方向性を示す 地域振興構想を策定予定のため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	移住・定住担当	連絡先	948-6095	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	藤田 晴彦	担当	白石 修介	久保 明日香

1.事業概要【Plan】

事業名	移住定住促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32141							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	移住・定住の促進	根拠法令					
取組みの柱	移住の促進						
目的・背景	移住検討者に移住地として選ばれるまちを目指し、本市の魅力や住みやすさをPRしたり、実際に来ていただき体感してもらおうほか、引き続き、本市に住み続ける人やUターンする人の増加を目指し、シビックプライドの醸成を図る。						
対象・内容	対象:首都圏及び関西圏などの都市部在住の移住希望者や松山在住の学生等。 事業内容:下記のとおり 1. 松山アンバサダー拡大事業(マツワカ)の実施 2. 移住ウェブサイトの運営 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5. 松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施 6. 東京や大阪で開催される移住フェアへの出展 【負担金支出先:えひめ移住交流促進協議会、特定非営利活動法人 100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター】						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	38,258	36,000	52,497		主な経費 (千円) 【R5 決算】		松山アンバサダー拡大事業業務委託料	16,239	
	国費・県費	14,569	13,112						移住体感ツアー運営事業業務委託料	7,479
	市債								移住ウェブサイト子育てプロモーション事業業務委託料	4,125
	その他									
決算 (千円)	事業費計	36,519	34,262			主な取組 内容 【R5】		・松山アンバサダー拡大事業の実施		
	国費・県費	16,778	15,163						・移住ウェブサイトの運営	
	市債								・松山暮らしを体感する移住ツアーの実施	
	その他	2,000	2,000						・「まつやま婚ツアー」の実施	
	一般財源	17,741	17,099						・東京などで開催する移住フェアへの出展	
	(執行率)	95%	95%							
人役	正規職員	3.0	3.0	4.0		特記 事項		令和6年度より子育て世帯いらっしやい事業を統合		
	その他	0.0	1.0	0.0						
	合計	3.0	4.0	4.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	移住ツアー、移住フェア の実施回数	目標	25	25	25	25	オーダーメイド型移住ツアーの実施や移住フェアへの積極的な出展により、目標を達成した。	
		実績	25	28				
	単年で増	回	達成率	100%	112%			
成果 指標	県外からの移住者数	目標	6,200	8,300	10,500	10,500	移住希望者のニーズに合わせた取組により、目標を達成した。	
		実績	7,082	10,076				
	累計で増	人	達成率	114.2%	121.4%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	移住ツアーの実施や移住フェアへの積極的な出展に加え、子育て世帯を対象に引越時代や住宅取得の支援を開始するなど、移住希望者のニーズに合わせた情報提供や取組により、予定を上回る移住者数を達成できた。						
課題	「移住ツアー、移住フェアの実施回数」、「県外からの移住者数」ともに目標値を達成しているが、10代・20代の若者の転出超過が続いており、今後も若い世代や子育て世帯の定着やUターンの促進に向けて重点的に取り組む必要がある。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	人口減少が進む中、日本全国から「住みたい」「住み続けたい」と思われるまちを目指すため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	移住・定住担当	連絡先	948-6095	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	藤田 晴彦	担当	白石 修介	久保 明日香

1.事業概要【Plan】

事業名	子育て世帯いらしゅい事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32141			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	選ばれる都市づくり							
主な取組	移住・定住の促進		根拠法令					
取組みの柱	移住の促進							
目的・背景	今後の地域社会を支える子育て世帯の移住を推進するため、移住時に係る引越し費用の一部を支援するとともに、支援の内容についてSNSなどで情報発信していくことで、効果的な事業展開に努める。							
対象・内容	対象:子育て中の移住検討者 事業内容:下記のとおり ・子育て世帯を対象にした補助事業を実施 ・18歳未満の子どもを扶養している県外からの移住者に引越し費用を補助する。 ・子育て中の移住検討者に向けた積極的な情報発信 公園やお買い物事情など子育て層が関心を持つ情報を掲載したウェブブックを作成。あわせて、松山在住のインフルエンサーとコラボし、SNSにて情報発信していく。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費		
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	総務管理費	目	企画費		
予算(千円)	事業費計	0	5,000	0						子育て世帯いらしゅい事業補助金(引越し費用補助)	
	国費・県費					移住ウェブサイト子育て 프로모ーション事業業務委託料		968			
	市債										
	その他										
	一般財源	0	5,000	0							
決算(千円)	事業費計	0	6,857			主な取組内容【R5】		子育て世帯を対象にした補助事業 ・子育て中の移住検討者に向けた積極的な情報発信			
	国費・県費		484								
	市債										
	その他										
	一般財源	0	6,373								
	(執行率)	0%	137%								
人役	正規職員	3.0	3.0	4.0		特記事項		令和6年度より移住定住促進事業に統合			
	その他	0.0	1.0	0.0							
	合計	3.0	4.0	4.0							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	子育て世帯向けウェブブック等アクセス数	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	2,188	-	-		
	単年で増	件	達成率	-	-	-		-
成果指標	引越し費用を補助して移住した人数	目標	-	60	120	180	SNSや移住フェアでの積極的な情報発信により、目標を達成した。	
		実績	-	113	-	-		
	累計で増	人	達成率	-	188.3%	-		-
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	子育て世帯の移住を後押しするだけでなく、補助者には、移住者インタビューや移住者交流会などの本市の移住促進に向けたPR活動への協力をお願いしており、移住検討者に本市の暮らしやすさを効果的に届けることができた。						
課題	10代・20代の若者の転出超過が続いており、今後も若い世代や子育て世帯の定着やUターンの促進に向けて重点的に取り組む必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	若い世代、特に子育て世帯の移住を後押しする取組を実施することで、子育て世帯に「選ばれるまち」を目指す。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	三津浜地区活性化担当	連絡先	948-6942	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	中津 淳	リーダー	山本 彰一	担当	松谷 咲良	

1.事業概要【Plan】

事業名	三津浜地区活性化推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32214								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	観光産業の振興			○	○	○	○	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	三津浜地区活性化計画				
取組みの柱	三津浜地区の観光拠点化							
目的・背景	三津浜地区は、港町独自の歴史や文化に加え、魅力ある古民家なども数多く残っているが、商店街などでは空き店舗などが目立つようになっている。そのような中で、『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想のサブセンターゾーンとして位置づけられている三津浜地区の活性化を図るため、港町として栄えた面影が今も息づく歴史や文化など、三津浜地区の魅力ある地域資源を活用し同地区のにぎわいを創出する。							
対象・内容	【対象】負担金交付先:三津浜地区にぎわい創出実行委員会 【事業内容】三津浜地区の新たなにぎわいを創出する取り組みを実施する。 ○三津浜地区にぎわい創出実行委員会 ・三津浜地区のまちづくり活動の支援や「町家バンク」の管理運営を行う「三津ハマル」を開設 ・「三津浜地区の食文化」の普及に向けた取り組み ・チャレンジショップの管理運営 ・シェアショップの管理運営 ・地域資源の情報発信 ○三津浜にぎわい創出助成事業 ・三津浜地区の活性化に寄与する活動を行う団体に対する支援							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	三津浜地区にぎわい創出実行委員会への負担金		8,850
予算(千円)	事業費計	13,020	9,058	10,766					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,020	9,058	10,766					
決算(千円)	事業費計	12,936	8,943			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他	2,000							
	一般財源	10,936	8,943						
	(執行率)	99%	99%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0					
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	町家バンクの登録物件数	目標	173	188	204	207	「町家バンク」制度を地区内に周知啓発することで、登録物件数の目標を達成することができた。	
		実績	185	201				
	累計で増	件	達成率	106.9%	106.9%			
成果指標	町家バンクのマッチング件数	目標	93	100	111	113	三津浜地区の魅力を発信することで、マッチング件数の目標を達成することができた。	
		実績	98	109				
	累計で増	件	達成率	105.4%	109%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	町家バンクの登録物件数及びマッチング件数ともに増加したことで、地区内の新たなにぎわいの創出につながったため。						
課題	三津浜地区には空き家や空き店舗が依然として多くあることから、引き続き町家バンクへの登録件数を増やしていく必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	令和6年度末に今後の方向性を示す地域振興構想を策定予定のため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	石田 丈史	担当	掛水 淳史	山崎 泰平

1.事業概要【Plan】

事業名	地域におけるまちづくり推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
61111							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する		○	○	○	○	
施策	市民主体のまちづくり						
主な取組	地域団体活動への支援	根拠法令	松山市地域におけるまちづくり条例、まちづくり基本構想、まちづくり基本計画				
取組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援						
目的・背景	住民自治組織「まちづくり協議会」の設立や設立後の支援を通じて市から一定の権限・財源・責任を移譲することで、自助・共助・公助の原則に基づく住民主体のまちづくりを推進し、地域分権型社会の実現を目指す。						
対象・内容	「まちづくり協議会準備会」及び「まちづくり協議会」へ「松山市地域におけるまちづくり交付金」・「松山市地域におけるまちづくり補助金」を支出するほか、以下の支援を行う。 ①設立支援(各地区で勉強会や説明会を実施し、制度の主旨や概要を周知) ②設立後の支援(協議会設立のための組織づくりや規約づくりなどの技術的支援、会議等への出席、まちづくり計画の策定支援、事業運営のアドバイス、各協議会同士の交流や情報交換機会の創出) ③広報活動(まちづくり協議会の取組を周知するための広報) ④情報交換(「地域力パワーアップ大会」の開催を通じた、まちづくり協議会活動の情報交換)						

2.事業実施【Do】

		会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	77,429	76,226	82,576		主な経費 (千円) 【R5 決算】	地域におけるまちづくり交付金		51,437千円
	国費・県費						地域におけるまちづくり補助金		19,984千円
	市債								
	その他								
	一般財源	77,429	76,226	82,576					
決算 (千円)	事業費計	72,488	73,157			主な取組 内容 【R5】	まちづくり協議会への交付金・補助金の支出、まちづくり計画の策定支援、他地区の取組に関する情報提供、未設立地区への情報提供、準備会の設立等の支援、コミュニティアドバイザーの派遣		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	72,488	73,157						
	(執行率)	94%	96%						
人役	正規職員	5.0	4.0	4.0		特記事項			
	その他								
	合計	5.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	フェイスブック松山市まちづくり情報局のリーチ数	目標	20,000	20,000	20,000	20,000	協議会のイベントを中心に発信したが、コロナ禍以前の状況までは至らず、目標に届かなかった。		
		実績	18,483	15,120					
	単年で増	件	達成率	92.4%	75.6%				
成果指標	まちづくり協議会・設立準備会の設立数	目標	39	39	39	39	担い手の不足など、様々な要因により未設立地区が存在する。		
		実績	30	31					
	累計で増	団体	達成率	43.8%	50.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	30協議会のイベントや会議などに各担当が積極的に出向き、運営やまちづくり計画策定への支援、各協議会の要望や相談に対し、丁寧に対応できた。また、1地区で準備会が設立されるなど、地域におけるまちづくりの普及拡大にも取り組めた。							
課題	まちづくり協議会の持続的な運営および、地域におけるまちづくりの全地区への普及。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各地区のまちづくり協議会への支援を通じて、地域の魅力創出や課題解決などの取組みにつながっているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	久保 京介	担当	高須賀 薫	室 百合奈

1.事業概要【Plan】

事業名	地域協働活動応援事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
61111								
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する			○	-	-	-	
施策	市民主体のまちづくり							
主な取組	地域団体活動への支援		根拠法令					
取組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援							
目的・背景	地域協働活動応援事業は、より暮らしやすい地域づくりのため、町内会連合会や町内会・自治会などの地域コミュニティ組織を支援し、また、地域住民が自主的に行う防犯、社会福祉、環境美化などの地域活動を推進する。平成25年度の広報委員制度見直しに伴い、これまで広報委員が担っていた広報・広聴業務や防犯活動、募金活動などの地域活動が停滞する懸念があったため、制度見直し後も円滑に地域活動が実施されるよう、平成26年度から、地域が行う様々な活動を支援する本事業を開始した。							
対象・内容	(1)地域協働団体の支援:松山市内40地区の地域協働団体(まちづくり協議会、町内会連合会など)と地域協働活動の実施に関する協定書を締結し、その協定に基づいて交付金を交付する。また、各地域協働団体が開催する定例会に市職員が出席し、市政の周知や地域に対する依頼を行うほか、地域からの意見や要望を聴くなど、地域との連携を図る。 (2)地域活動保険への加入:地域の方々が安心してコミュニティ活動に参加できるよう、地域協働活動中のケガや事故を対象とした保険制度に加入する。 (3)町内会への加入促進:町内会への加入率の低下により、地域活動の停滞が懸念されることから、町内会等の状況調査を実施して加入率の推移を把握するとともに、町内会加入啓発パンフレットを転入者に配布して啓発を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費		
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	負担金補助及び交付金	57,004			
予算(千円)	事業費計	57,831	58,569	58,696				主な取組内容【R5】	地域協働団体への支援 地域活動保険への加入 町内会への加入促進		
	国費・県費						役務費			670	
	市債										
	その他										
一般財源	57,831	58,569	58,696								
決算(千円)	事業費計	57,234	57,701								
	国費・県費										
	市債										
	その他										
	一般財源	57,234	57,701								
(執行率)	99%	99%									
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項					
	その他										
	合計	1.0	1.0	1.0							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	町内会等への加入促進チラシ活用の案内	目標	1	1	1	1	町内会連合会の総会の回数を周知目標としているため。		
		実績	1	1					
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
成果指標	町内会加入率	目標	83	83	83	83	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下		
		実績	71	71					
	単年で減	%	達成率	86%	86%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	地域協働団体連絡会等で加入啓発のチラシを配布し啓発に努めたことや、減少に歯止めをかけるため町内会連合会などの地域協働団体が開催する定例会に職員が出席し加入啓発に努めたため。							
課題	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下により、町内会への未加入者が増加している。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	転入者に対し加入チラシの配布や町内会の運営のアドバイスに加え、マンション建設業者が来庁する窓口でもチラシ配布による加入啓発に努める。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330		
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	久保 京介	担当	高須賀 薫	室 百合奈	

1.事業概要【Plan】

事業名	61112 コミュニティ活動振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する		○	-	-	-	
施策	市民主体のまちづくり						
主な取組	地域団体活動への支援	根拠法令					
取組みの柱	地域コミュニティ活動の拠点整備						
目的・背景	コミュニティ助成は、一般財団法人自治総合センターが、昭和53年度に宝くじの収益金を財源として開始したもので、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の推進を図る事業等に助成を行う。 また、旧北条市から引き継いだコミュニティ集会所については、従来、覚書により地元負担となっていたが、市への要望により平成23年度からは一定の条件を満たす場合は対応することとなった。また、令和6年度から地元の要望により公民館分館移行を行う地区ができたため、残りの地区について、修繕の要望に基づき予算の範囲内で工事を行い、集会所を維持する。						
対象・内容	コミュニティ助成は、地域コミュニティ団体を対象に一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望の取りまとめや周知を行う。 北条コミュニティ集会所は、令和6年4月1日付で浅海・正岡・河野・粟井地区が公民館分館となったため、当該が管理する残り3地区(立岩・難波・北条)41カ所を対象とする。 消防法で規定された8カ所の集会所については、消防機器の保守点検業務を実施し、地域コミュニティ活動の基盤強化を図る。 また、地区へ譲渡された41カ所の「アナログ同報系防災行政無線」(北条コミュニティ放送設備)の修繕があった場合は、10万円を限度に1/2を補助する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主要経費(千円)【R5決算】	コミュニティ助成事業補助金		17,100
予算(千円)	事業費計	39,047	21,412	1,203			北条コミュニティ集会所の修繕費		2,023
	国費・県費						委託料		138
	市債								
	その他	35,507	17,107	7					
一般財源	3,540	4,305	1,196		主要取組内容【R5】	北条コミュニティ集会所の修繕 北条コミュニティ集会所の消防設備機器点検 コミュニティ助成事業による地域団体支援			
決算(千円)	事業費計	38,446	19,330						
	国費・県費								
	市債								
	その他	35,510	17,107	7					
	一般財源	2,936	2,223						
	(執行率)	98%	90%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	地域団体へのコミュニティ助成事業の周知	目標	1	1	1	1	地域コミュニティ活動のため積極的な制度の利用を促した。		
		実績	1	1					
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
成果指標	集会所の修繕申請に対する対応	目標	100	100	100	100	全ての修繕申請に対し適切に対応できたため。		
		実績	100	100					
	単年で減	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	コミュニティ助成は、町内会連合会等の定例会で周知し、助成事業の活用を促したため。 コミュニティ集会所は、複数の修繕要望があったものの、工事を工夫し予算を効率的に配分したため。							
課題	北条コミュニティ集会所の老朽化により、今後も修繕要望の増加が懸念される。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	北条コミュニティ集会所については、公民館分館への移行が進みつつあるため		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	久保 京介	担当	宮内 大輝	室 百合奈

1.事業概要【Plan】

事業名	NPOサポートセンター運営管理業務		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
61121								
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する			○	-	○	-	
施策	市民主体のまちづくり							
主な取組	市民協働の推進		根拠法令	松山市市民活動推進条例、まつやまNPOサポートセンター事業実施要領				
取組みの柱	NPOなどへの活動支援							
目的・背景	平成10年12月に「特定非営利活動促進法」が施行されたことにより、平成13年度に松山NPOサポート委員会を設置し、平成14年7月にまつやまNPOサポートセンターを開設した。市民活動の拠点として、人材育成、情報収集・提供等の事業を展開し、NPO等の活動を支援する。							
対象・内容	対象:まつやまNPOサポートセンター 内容:実態ニーズ調査、相談・団体個別支援、講座の開催・企画、情報発信(メルマガ等)、市民活動交流などを実施 委託先:認定NPO法人 アクティブボランティア21							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	18,233	18,402	21,684		主な経費 (千円) 【R5 決算】	まつやまNPOサポートセンター運営事業委託費		17,917	
	国費・県費						まつやまNPOサポートセンターのコピー代		164	
	市債									
	その他									
	一般財源	18,233	18,402	21,684						
決算 (千円)	事業費計	18,134	18,309			主な取組 内容 【R5】	・NPOの活動等に関する講座の開催 ・NPOの運営等に関する相談対応 ・NPO関連の情報発信			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	18,134	18,309							
	(執行率)	99%	99%							
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項				
	その他									
	合計	0.4	0.4	0.4						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	NPOの活動等に関する 講座の開催回数	目標	15	15	15	15	新型コロナウイルス感染症も落ち着き、希望団体等へ出向いて講座を実施することができたため。	
		実績	12	32				
	単年で増	回	達成率	80%	213%			
成果 指標	NPOの運営等に関する 相談対応の件数	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	講座の実施回数が増えたことにより、その場で疑問が解決され、相談するに至らなかったため。	
		実績	923	889				
	単年で増	件	達成率	92.3%	88.9%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	NPOの活動等に関する講座の開催数が約2.6倍になるなど、情報発信やNPO団体のサポートを積極的に行うことができたため。また、相談対応件数は微減したが、来場者数は増加傾向にあり、回復基調にあるため。						
課題	NPOの活動等を若年層へ周知させること			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	講座回数や来場者数は増加傾向にあり、情報発信やサポートを順調に実施できているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	久保 京介	担当	宮内 大輝	室 百合奈

1.事業概要【Plan】

事業名	市民活動推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
61121							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する		○	○	○	-	
施策	市民主体のまちづくり						
主な取組	市民協働の推進	根拠法令	松山市市民活動推進条例、松山NPO登録要綱、松山市市民活動推進補助金交付要綱				
取組みの柱	NPOなどへの活動支援						
目的・背景	市民一人ひとりが主体的、自立的にまちづくりを進める社会を実現するため、市民活動の推進に関し必要な施策を実施する。 平成10年12月「特定非営利活動促進法」施行 平成11年度 市民活動モデル調査検討会の設置 平成12年度 松山市NPO検討委員会の設置 平成13年度 松山市NPOサポート委員会の設置 平成14年～16年度 NPO成熟促進委員会の設置 平成17年度から 市民活動推進委員会の設置						
対象・内容	対象:市民活動団体 約200団体 内容:市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みとして市民活動推進基金を設置し、市民活動団体に対して事業費の一部を助成している。また、市民活動団体等の表彰や活動報告会の開催等により、市民活動に関する啓発を積極的に行うとともに、官民連携により市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	15,776	15,007	9,478		主な経費 (千円) 【R5 決算】	松山市市民活動推進基金積立金		5,069
	国費・県費						松山市市民活動推進補助金		6,142
	市債						松山市市民活動推進委員報酬		149
	その他	12,426	12,035	9,000					
	一般財源	3,350	2,972	478					
決算 (千円)	事業費計	11,642	11,520			主な取組 内容 【R5】	・市民活動を行う団体への事業補助金の継続 ・市民活動推進基金への寄付の周知		
	国費・県費								
	市債								
	その他	8,411	8,676						
	一般財源	3,231	2,844						
	(執行率)	74%	77%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	市民活動制度周知件数	目標	-	-	10	12	-		
		実績	7	8					
	単年で増	件	達成率	-	-				
成果指標	松山市NPO登録団体数	目標	-	-	200	200	-		
		実績	209	218					
	現状維持	件	達成率	-	-				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	寄付件数については減少傾向にあり一部見直しが必要であるが、一方で、市民活動推進補助金への応募数、松山市NPO登録団体数はともに前年と比べて増加し、市民活動を活性化させることができたため。							
課題	寄付件数を増加させること。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	引き続き寄付者の獲得に努めるとともに、キャッシュレス決済導入の可能性を検討する。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	井上 圭二	リーダー	石田 丈史	担当	山崎 泰平	

1.事業概要【Plan】

事業名	表彰制度実施事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営		
69999			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			—	—	—	—		
政策	その他								
施策	その他								
主な取組	その他		根拠法令	松山市市政功労者表彰条例、松山市表彰規則					
取組みの柱	その他								
目的・背景	本市の名声を高め、郷土の誇りとして、社会の希望と活力の高揚に寄与した者、広く市民へ感動を与えた者、又は本市の公益等に尽くしその寄与するところが著しい者及び市民等の模範となる優れた者に対して表彰を行い、市民意識の高揚に貢献することを目的としている。平成12年度に「松山市栄誉賞」「かがやき松山大賞」の2表彰制度を新設し、既存の市長表彰を「きらめき松山市民賞」として整理した。平成24年度には「松山市文化スポーツ栄誉賞」表彰を新設した。								
対象・内容	「松山市栄誉賞」「松山市文化スポーツ栄誉賞」「かがやき松山大賞」に該当する、松山市にゆかりのある人へ表彰状と副賞等を贈る。								

2.事業実施【Do】

		会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	報償費		558千円
予算(千円)	事業費計	665	926	1,889					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	665	926	1,889					
決算(千円)	事業費計	665	560			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	665	560						
	(執行率)	100%	60%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2					
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	かがやき松山大賞表彰式の開催	目標	3	3	2	2	大会の時期や表彰対象者との日程調整により、実施回数は2回となった。	
		実績	3	2				
	単年で増	件	達成率	100%	66.7%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	合同での表彰式とすることで、様々な分野の被表彰者が互いに刺激し合う場とすることができた。また、合同実施というスケールメリットを生かし、広く情報発信することができた。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の名声を高める活躍を表彰し、広く市民に周知できる有効な取組である。	